

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	徳島県	事業実施主体	徳島県・海陽町	地域再生計画名	森林と共に安全安心に住み続けることができるまちづくり計画
計画期間	令和4年～令和8年	評価責任者	海陽町 建設防災課長 奥原浩司		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	目標	内容	基準年度	基準年度	年度	中間実績	基準年度	基準年度		指標総数	達成数		
	目標1	災害時地域孤立リスクの低減 避難用道路の整備による災害時 孤立集落の解消	1集落	R3	0集落	R6	0集落	0集落	R8	○		既に最終目標値を達成している。	
	目標2	効率的な森林整備の実施 木材の年間素材生産量の増加	42,700m3	R3	43,300m3	R6	44,189m3	43,700m3	R8	○	2	2	既に最終目標値を達成している。今後も引き続き森林施業を実施する。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度 (R6)	最終実績 見込み								
特別措置を適用して行う事業	町道整備事業		100m	100m	100m	既に最終目標値を達成している。							
	林道整備事業		1800m	724m	1800m	計画の進捗に遅れはあるが、今後も引き続き事業を実施し、整備延長を伸ばしていきたい。							
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業	宍喰地区地域防災公園整備事業	南海トラフ巨大地震により孤立が懸念される宍喰地区に防災公園の整備	H31年度の事業化された、阿南安芸自動車道とアクセス道である県道との連携に密にし、効率的な事業の推進を図る。										
	花粉削減・グリーン成長推進事業	森林の機能回復と木材資源の確保	森林道及び作業道の整備を行い、森林の適正な管理を進め、山腹崩壊等の山地災害を防止するとともに、森林の機能回復と木材資源の確保を図る。										
	造林事業	企業誘致と若者定住確保の実施	造林、下刈り、間伐等の森林の保育事業を行い、地域活性化の原動力となる間伐材の有効利用を図るほか適正な森林維持に努め、今後も継続的に行う。										
	「海陽町元気になる和」事業	地域特産のブランド化	食の安全安心、地産地消、食育を柱として、町、町民、農林水産業者及び商工会業者の役割を明らかにすることにより、海陽町の元気な未来を実現する為に事業に取組み今後も継続的に行なう。										
	農林業における人材育成	資格養成等の実施	林業においては、搬出間伐等に使用する高性能機械の操作を行う林業従事者で、機械操作に係る資格を有する「森のエキスパート」養成研修等を実施し今後も継続的に行う。										
③評価方法	海陽町地域再生協議会を開催し、中間目標値の実施状況に関する評価・検討を行う予定。												
④中間評価の公表方法	海陽町ホームページに掲載する予定。												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した町道整備と林道整備を一体に行うこととしており、町道の整備については、計画どおり進み道路網のネットワーク化や災害時の避難路・迂回路としての機能確保に向けて着実に取り組みを進めている。 林道整備においては、事業を推進しており、今まで森林施業が困難であった地域について充実した森林へのアクセス改善が図られた。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・ <input checked="" type="radio"/> 無） 令和8年度予算要望額への反映（有・ <input checked="" type="radio"/> 無） 有りの場合の増減額 千円												
⑦今後の方針等に対する対応	地域再生計画に基づき引き続き町道と林道を一体的に整備していくことにより安心安全な地域づくりに努めると共に、町内のアクセス改善や効率的な森林整備の実施による林業振興を通じて地方創生に向けた取組みを推進する。												